

年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	(浄化)施設維持管理事業	会計名称	浄化槽整備特別会計				担当課	都市住宅課								
		予算科目	1	款	1	項	1	目	事業番号	8811	所属長名	三谷陽紀				
事業評価の有無	☐ 評価対象事業 ☒ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）										担当責任者名	山田仁				
法令根拠等	浄化槽法、伊予市浄化槽の設置及び管理に関する条例										実施期間	【開始】	令和／平成	17	年度	
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造											【終了】	令和			年度(予定)
	潤いのある水環境づくり												■			設定なし
総合計画における本事業の役割	子どもからお年寄りまでが快適に生活できる環境を構築															
事業の対象	市が浄化槽の設置から維持管理までを行う伊予市浄化槽市町村整備推進事業（中山・双海地区）で設置した浄化槽に関する維持管理							事業の目的	市が設置した浄化槽において、使用者から使用料を徴収し、適正な維持管理に努めることにより、水質改善を図り、快適な生活環境の構築を実現する。							
事業の内容（整備内容）	浄化槽の適正な機能保持のため、保守点検・清掃・法定検査等の維持管理を行う。また、浄化槽が故障した場合、市が委託契約を結んでいる業者によって修繕を行う。							評価事業としないこととした理由	施設の維持管理であるため。							

事業活動の内容・成果 (D0)

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2年度予定	9月末の実績	2年度実績
直接事業費		19,663	26,567	0	0	0	26,350	維持管理費（中山・双海地区）	千円	19663	26567	3804	26350
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
	県支出金	0	0	0	0	0	0						
	地方債	0	0	0	0	0	0						
	その他	19,663	26,567	0	0	0	26,350						
	一般財源	0	0	0	0	0	0						
職員の人工（にんく）数		0.40	0.40				0.40			0			
1人当たりの人件費単価		7,992	7,812				7,812						
※ 直接事業費＋人件費		22,860	29,692				29,475						
主な実施主体		直接実施業務委託		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）		浄化槽維持管理業務委託料 7,421（千円）				0			
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	5年間の合計		
						22,700	10,000	9,500	9,000	8,500	59,700		

事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	市設置浄化槽の使用者の変更や使用人数の変更等、届出が適正に行われていないケースがあるが、死亡届については地域事務所における届出書類に案内を依頼する旨、記入する等連絡体制が確立出来てきている。		
一次判定	事業の方向性	☒ 事業継続と判断する。 ☐ 事業縮小と判断する ☐ 事業廃止と判断する	判断の理由	市設置型浄化槽については、設置後10年を経過したものから順次個人への譲渡を進めているが、譲渡完了までは事業継続の必要があるため。

二次判定	☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐			
	☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	☐	さらに重点化する。	
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	☐	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	